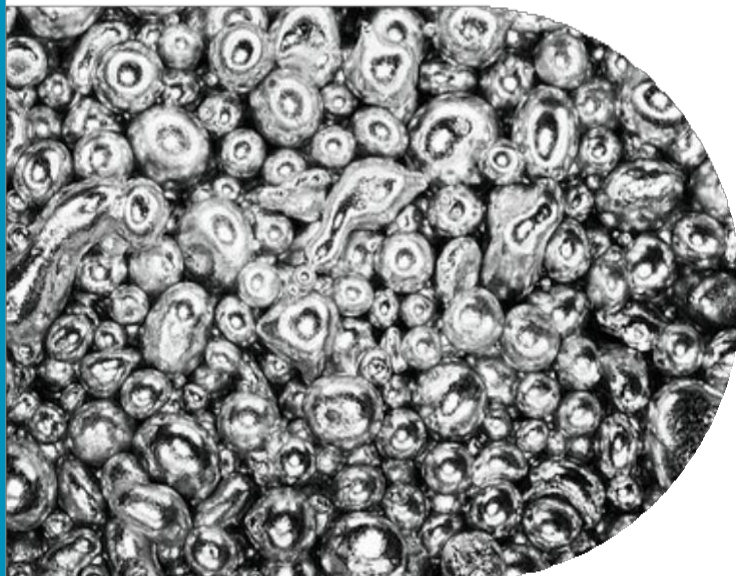


ETF投資

日本で長期投資増え
2024年はプラチナETF
増加見込み

プラチナ粒 写真提供: ジョンソン・マッセイ



上場投資信託(ETF)はコモディティー(あるいはその他の金融資産)の価格に連動する取引所に上場されている投資信託で、価格は取引時間内に相場の動きに応じて変動する。投資家はプラチナETFを含むETFを直接取引所で、あるいはブローカーを通じて売買できる。

プラチナETFは現物を原資としているため、大抵の場合、投資家が保有するETFの価値は100%現物のプラチナインゴットに相当する。そのファンドの唯一の資産であるインゴットは安全な保管庫に保管されており、年間手数料は通常プラチナの市場価格の1%以下となっている。個人投資家やアセットマネジャーは、このような形で保険料や保管料などのコストがかからない形で現物プラチナに投資することができる。

プラチナETFの購入が売却を上回った場合には、新たなETF証券が発行され、ファンドは通常3日以内にスポット価格あるいはOTC市場でプラチナインゴットを購入し、大手銀行などの保管庫に移して原資とする。

ETFの取引価格はプラチナのスポット価格に連動している。従ってプラチナを現物で所有する場合と同様にプラチナ価格が上がればETFを保有している投資家には利益となり、プラチナ価格が下がれば損失となる。

広く知られているプラチナETFには、米国市場ではabrdrnやGraniteSharesが発行しているもの、欧州市場ではWisdomTree、日本市場では三菱UFJ信託銀行の商品がある。

2024年の世界のプラチナETFの残高は、第2四半期に大きく増えて全体で4.7トン増える予測で、その背景はゴールドと比した割安感と長期的ファンダメンタルズの強さがある。

日本市場のETFの発展

日本では個人投資家の投資を促進するために、10年ほど前に試験的に新しい商品として非課税枠のある少額投資非課税制度、NISAが導入された。英国の個人貯蓄口座(ISA)がモデルで、NISAにはプラチナETFを含むETF商品も含めることができた。



ETFは取引所で売買ができる上場信託(図は参考目的のみ)

そして今年1月からは、貯蓄に回っている個人の現金をさらに長期的な投資に仕向けて証券市場の発展を促す目的で NISA に新たな制度が導入された。日本政府は、NISA 口座を2倍の3400万口座に増やし、NISA を通じた投資総額を5年間で 28兆円から56兆円にまで増やす目的を掲げている。

今回の新たな変更点には年間投資枠の限度引き上げ、非課税保有期間を無制限化など、一時的な措置として始まった NISA の位置付けを取り直した。

これにより日本の個人投資家センチメントが大きく好転し、プラチナ ETF を含む貴金属投資の裾野が広がった。

Contacts:

Vicki Barker, Investor Communications, vbarker@platinuminvestment.com

Edward Sterck, Research, esterck@platinuminvestment.com

Brendan Clifford, Institutional Distribution, belifford@platinuminvestment.com



WPIC Japan Japan@platinuminvestment.com

Ziyang ZENG (Sophia), CFA

APAC Lead, Product Partnership, szeng@platinuminvestment.com

免責条項: © 2024 World Platinum Investment Council Limited. All rights reserved. ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの名称、ロゴ、及び 略称WPIC は、World Platinum Investment Council Limitedの登録商標となる。当出版物のいかなる部分も、出版者の許可なく、いかなる手段にて複製、送付されてはならない。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルはいかなる規制機関からも投資アドバイスを行うことを承認されていない。当出版物は、有価証券あるいは金融商品の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。掲載写真は例示を目的としてのみ使われている。さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイト参照: <http://www.platinuminvestment.com>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、あくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。